

## 平成30年度 海外インターンシップ報告書

信州大学繊維学部 先進繊維・感性工学科 感性工学コース 3年

実習期間	平成30年8月20日(月)～8月26日(日)	7日間
実習企業	KONDO TEXTILES VIETNAM CO., LTD.	
実習地	ベトナム社会主義共和国 ビンズオン省	

## 1. 実習目的

Chapter1 purpose

数十年前から先進国である日本は人権費の増加によって、多くの企業が安い人件費を求め、アジア諸国に製造工場を移転してきました。また近年、日本の在住外国人の増加数は世界で四番目に多く、外国人労働者は増加傾向にあります。これらのことから、今後働く場はいっそうグローバル化し、多様な文化・価値観を持った外国人と英語でコミュニケーションを取りながら働くことが予想されます。事実、すでに大企業の多くはこの傾向が見られます。そこで、学生のうちに海外に支社をもつ日本の企業の現状を実際に体感し将来の働き方の参考にするとともに繊維業界の形態・特色を知ることを目的にこのプログラムに参加しました。

## 2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

株式会社近藤紡績所は名古屋に本社がある中小企業で、工場は国内に1つ、海外に5つ展開しています。会社のスローガンである『綿から、街まで。』にあるように紡績からアパレル、そして不動産まで幅広くやっています。紡績事業では綿糸の紡績に加え、自主開発糸の研究開発・製造・販売まで行い、アパレル部門ではアパレル製品の製造・販売だけでなく自社ブランドである「Laundry」まで手がけています。そして、不動産事業では自社が所有する土地を利用し、地域のニーズに合わせた大型ショッピング、インテリジェンスビル、マンション、ゴルフ練習場などで活気ある街づくりに貢献しています。今回、私が行かせて頂いたKONDO TEXTILES VIETNAM CO., LTD. は、この中の紡績事業の工場に当たり綿糸から純綿糸、カード糸、コマ糸を作る紡績工場です。

## 3. 実習日程

Chapter3 schedule

8/20(月)

- ・成田空港→ホーチミン空港  
(移動のみ)

8/21(火)

- ・会社概況説明
- ・工場見学
- ・混打綿～梳綿の説明
- ・防災システムの説明

8/22(水)

- ・フリーにHL～FF 見学

- ・練糸機と粗紡機の説明
- ・糸継ぎ動作

8/23(木)

- ・精紡機と捲き糸の説明と見学（捲き糸体験有り）
- ・感度設定について
- ・検品、パッキング作業体験
- ・試験室にて HVI 測定作業
- ・改善提案活動 2～3 件の説明と見学

8/24(金)

- ・戦争跡地視察
- ・空調、安全、原単位管理についての説明
- ・実習報告会、意見交換会

8/25(土)

- ・ホーチミン市内の営業所にて営業と経理についての説明
- ・市内観察（自由時間）

8/26(日)

- ・ホーチミン空港→成田空港  
（移動のみ）

#### 4. 実習内容

Chapter4 laboratory

8/20(月)

13 時に成田空港で集合し、総務部長の渡部様、依田君、私の 3 人でベトナム航空に乗りホーチミン空港に行きました。初日はホーチミン空港に夜到着したのでそのまま市内のホテルにチェックインして荷物だけ置き、ホーチミン市内の営業所で働いている平林様と 4 人で近くの日本食レストランに行きました。初日は移動のみです。

8/21(火)

インターン 1 日目はまず工場の制服に着替え、関崎社長と田中工場長に挨拶しました。午前は最初に関崎社長からベトナムにおける繊維産業情報を教えてもらい、次に、田中工場長が会社概況説明をして下さり工場内の機械の流れに沿って案内してもらいました。そして関崎社長から紡績概論について説明をしていただきました。

午後からは担当スタッフの方に混打綿機と梳綿機の説明を受け、工場内で実際に混打綿機と集塵システムを見学して、梳綿機のゲージに簡単に触れる体験をしました。その後、防災システムを担当スタッフの方 2 人からマップを見ながら説明を受け、実際に工場内を 1 周して防災システムの全てを軽く確認しました。



集塵システムの一部



BDF (ほぐして異物を落とす)



RN (原綿をローラーでほぐす)



MF (NFに送る)



目標無事故日数パネル



防災道具 (消火器、バケツ)

8/22(水)

インターン2日目は、まず冒頭に1日目の質疑応答をして、すぐに工場に入り、担当スタッフの方から HL~FF 機台の役目を順番の一つずつ説明を受けました。その後自由に HL~FF の機械を見学して気になる場所があれば現地スタッフに聞きました。次に コーマ準備→コーマ→練糸→粗紡の流れを担当の方に説明を受け、実際に工場内の機械を見て、コーマ糸とカード糸の違いを比較しました。

午後は最初に社用車に乗って近隣の工業団地を視察しました。工場に帰ってきてまず精紡機の役目について担当の方から説明を受け、現場で精紡機と Compact 機を案内してもらい操業各種作業を紹介していただきました。そして、近藤紡績に入ったらみんなやると聞いた糸繫ぎを体験しました。30 分くらい挑戦してみましたが 1 回も出来ませんでした。



カード機



糸繫ぎする場所



捲き糸機 (新型: 全自動)



カード糸 (左) コーマ糸 (右)



コーマ糸



カード糸

8/23(木)

インターン3日目は冒頭に2日目の質疑応答を済ませ、紡績工程最後の捲き糸機の役目について担当の方から説明を受け、工場で設備・配台をみました。新機と旧機の違いについても聞きました。その後原綿の感度設定や引っ張り強度などの繊維の調査をする部署を見学しました。最後に検品とパッキングについて説明を受け荷造りを体験しました。

午後は午前やった感度設定を体験してみました。そして KONDOBO TEXTILES で半年に1回やっている改善提案活動の例を5つほど聞き実際どこが変わったのか毎回工場まで見学しに行きました。



G 2 Z サプライサー



引っ張り強度を測定する機械



1 梱の重量確認



検品前のチーズ

### 8/24(金)

インターン 4 日目も冒頭に 3 日目の質疑応答をやり、通訳の人と会社が雇っているドライバーの人の 4 人で近くのクチ（戦地跡地）に視察しに行きました。

午後からは実習報告会があり 1 人 20 分のプレゼンをしました。その後渡部部長、関崎社長、田中工場長から評価を頂きました。



米兵から奪った戦車



ベトナム人が作ったトラップ

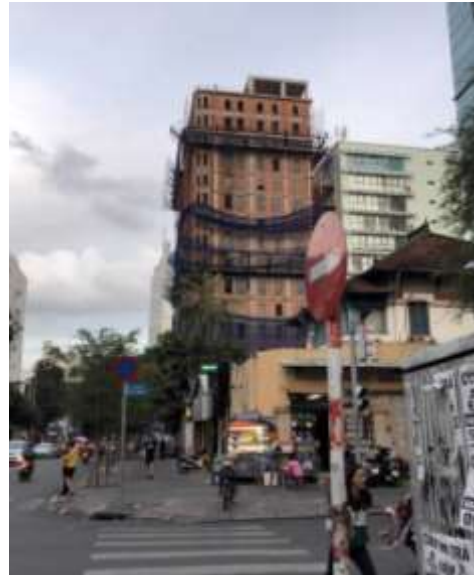
8/25(土)

インターン5日目はホーチミン市内にある営業所で6名の現地スタッフ（フンさん、ハムさん、アンさん、タンさん、スワンさん、フンさん）と一人ずつ交流しました。そして、平林さんから営業と経理について説明していただきました。昼食は現地スタッフの方数名とお食事会でした。

午後は自由時間で市内視察しました。



集合写真



市内視察

8/26(日)

深夜の便でホーチミン空港から成田空港に帰りました。成田空港には早朝に着きそのまま解散になりました。

#### 5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

大学の講義で大まかにしか知らなかった紡績について工程の流れを明確に知ることができました。大まかな流れだけでなく、専門的な用語や機械の構造などの知識も身に付ける事が出来ました。また、目上の方への言葉遣いや礼儀を1週間の間で少しですが身に付ける事が出来ました。さらに工場内見学の中で問題提議や提案が出来ました。そしてまだ十分ではないですが、観察力を少し身に付けることが出来たと思います。

#### 6. 今後の課題

Chapter6 problem

まず、今回の海外インターンシップで目標設定の薄さを実感しました。今後は目標設定する時は実現させるための明確な理想、明確な現状把握、適切な期限、目的、動機を吟味し、具体的な数値や行動で表せるよう改善したいです。これは社会人になったら至る所で求められることなので日頃から習慣化出来るよう頑張りたいです。

次に、私の1番の弱点である時間管理能力についてです。今回のインターンでは何度か依田君を数分待たせる場面がありました。社会人として時間を守ることは当たり前のことで人に迷惑をかけてしまいます。これからは日頃から予定時間の5~10分前に間に合うよう意識して行動する事を心がけたいと思います。

あと、日頃からの情報収集のしすぎで慢心になり周囲に歩調を合わせることができなかつたことです。最近いろんなことに興味を持ちすぎ情報収集に疲れることがあります。そこで、情報収集することを取捨選択してストレスのない範囲で続けていきたいと思えます。また、ストレス耐性の弱さは渡部部長に指摘されるまで築くことが出来ませんでした。最近よく実感することがあります。気づかせていただきありがとうございます。

最後にプレゼンの話の流れや明確な焦点の不十分についてとても痛感しました。会社に入ればプレゼンの能力は必須です。練習が足りなかったことを反省し、大学の授業での発表で何度か練習したいと思えます。

#### 7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

海外インターンシップに行こうか迷っているならば絶対行くべきだと思います。海外でのインターンシップの経験はあなたにとってプラスになることばかりだと私は思います。学生のうちにグローバル社会での働き方や他国の異文化、価値観を生で体感できる貴重な体験が出来ます。また、自分に足りない所や弱い所に気づかされ、今後改善することで就活を優位に進めることが出来ます。そして何より学生にとって県の補助金で海外に行けるのはとても良いチャンスだと思います。実際、私はホーチミンでベトナム料理を食べたり、買い物したり、観光地を回ったりしてとても楽しかったです。楽しいことも大変なこともあるのが海外インターンです。だから、ちょっとでも興味があるなら申し込んでみてください。わからないことは全て学務の人が親身になって教えてくれるので安心してください。

#### 8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

この度はインターンシップに参加させて頂きお世話になりました。  
総務部長の渡部様には引率していた上現地サポートをいただき誠にありがとうございました。  
総務課長の加藤様にはホテルや飛行機の予約から綿密なスケジュールまでやっていただきありがとうございました。  
現地のスタッフの皆様には事前に説明用の資料を仕事とは別で作っていただきありがとうございました。  
皆様のおかげで今回の海外インターンは心から充実した1週間になりました。この海外インターンでの経験を活かし就職活動に励みたいと思えます。  
心より御礼申し上げます。